飯田市

発行所
長野県飯田市公民館
編集人
飯田市公民館新聞委員会

印刷所　信州印刷KK
松本市巾上町353

夏季講座開かる

「よりよく生きるために」
みんなで話しあう
人間の近代化＝共同学習

飯田市公民館夏季講座が去る八月八、九、十日の三夜中央公民館に於て開催され、終始会地区に亘る熱心な聴講者をあつめて、所期の成果を挙げたがここに第一講お茶の水女子大学助教授吉田昇氏による「よりよく生きるために――共同学習の方途」の講演要旨を御紹介致します。なお第二、三講は次号に発表する計画です。

一応日本の近代が始ったといわれる明治初年このかた、過去九十年間のわが国の教育には、なにかしら、ちぐはぐなところがある。

どうも、学問に対する考え方、学問のしかたが、外国のそれと大分ちがっている。

そのことは、学問と生活とが全然別もので、どうしても一緒にならないという結果になってあらわれている。

教育は上から与えられるものだという考え方が、根深く培われているので、たとえば、音楽についても、日本人は知識としては一応心得ていながら、リズムにのることは、からきし不得手である。一般に音楽は聴かせてもらうものであり、自分がたのしむものだとは考えられていない。

生活をたのしむために教育をするというのが西洋の考え方だが、日本人は、たのしむことは教育でないと考えている。即ち日本の教育は単に生存のための教育で、生活のための教育ではないのであるだから、日本人は時間があまると、何をしてよいかゞわからず、もてあまして了う。真にたのしむことを知らないので、精々パチンコをするとか、一ぱいやるとかで時間をつぶすしかない。

一国の文化は、国民の一人々々が、暇な時間をどう使うかということで決定されるともいえるのだから、これでは少々情けない。

よく日本人は理屈好きだといわれる。しかし、その理屈が生活と全く離れていることは見逃せない。

和魂洋才というスローガンが明治に横行した。これは明治初年に入って来た西洋文明を、制度とか技術とかいった面でのみ、いわゞ道具としてのみとり入れたことを意味する。西洋文明は外側に過ぎず、内側には大和魂というものがあるのである。即ち、外側だけは近代化したが、内側の方は一向に変えようとはしなかった。

実はこうなんだ

外側が学問即ち理屈で内側が所謂実力というヤツである。「学問じゃ実社会は通用しない、ものを云うのは実力さ」という考え方だ。だから理屈が生活の中へ入って来ないのである。

日本では、学校で勉強するときは、常によそいきの姿勢が保たれており、家にいるときとは、まるでちがう。これは社会へ出てからも、そのまゝうけつがれる。

だから、会合の席上では、よそゆきの姿勢で終始し、散会後のかえりの夜道で、やっと本当の話が交わされるといったことになる。『実はこうなんだ……』という言葉が多く使われる所以である。

こう考えてくると、明治に始る日本の近代は、やはり本ものではなかったようである。

人間そのものゝ近代化がなされねば駄目なのではあるまいか。

こゝに共同学習の現出すべき要因がひそむのである。端的にいえば、みんなが話合うことによって古い考え方を変えてゆき、お互いの人間を近代化しようというのが共同学習である。

実は……というところから話をはじめよう。かえりの夜道の話を会合の場に持込もうじゃないかというのが、共同学習の立場である。

講師の先生を招いて、御高説を承らなくても、みんなで話し合うだけで、立派に筋道は通る筈である

そして、その話合いを話合いだけに終らせず、それを実践に移すことによって更に考えを深めるといったゆき方で、限り無き前進をつゞけてゆくことが出来よう。

不幸な仲間のために、『一晩みんなで泣いてあげました』なんて話合いの事例もあり、単なるなぐさめ合いに陥る危険も多分にあるから、みんなの力で実行に移すところまでやってみることが肝要なのだ。

みんなが共同すれば個人も得をする

由来、日本では、公と私が対立し、矛盾する二つのものと思われて居り、公の方は必ずよそゆきの姿勢で接すべきもので、しかも必ず損をするものであると考えられて来ている。たとえば、青年団なんかに顔を出すと、会費をとられた上に、よけいなひまざいをさせられるから、ばか気ているといった按配である。しかし、これではいつまで経っても、日本の民主々義は確立される筈はない。みんなが共同すれば、個人も得をするのである。共同のために公があるという理念を一刻もはやく身につけねばならない。共同学習はこのような理念を基礎とし、私たちがよりよく生きるために、真に人間的な生活を営むために、愈々推し進められるべきである。

実に共同学習については、過去九十年の教育が果し得なかった、日本の真の近代化の完成を約束する希望の光明ではあるまいか。

（文責記者）

＝論　説＝
国保はこれでよいのか

一市七ケ村が合併し、もはや一ケ年を迎えんとしている。今問題となっている国保について追求してみる。

合併と共に国民健康保険組合も統一された。我々市民が国保統一に当って願ったことは国保の健全なる運営と法のおんけいを等しく得るということであった。しかし統一後の現在をみると受診料の五割を窓口で支払わなければならなくなり、一方保険料は保険税とかわり、その算定も所得割、固定資産割と戸数割とになったので、農家や商人は固定資産や所得が多いということで保険税が上った。

受診料五割窓口払いということで現金がなければよほどの重病でも医者にかかることが出来ないという不便さで、結局悪いとは知りながら売薬や昔からのいい伝えの薬草などを使う様になり、国保の精神に反する面が多くでてきた。

入院中の食事や細い点も病人のふたんが多いので悲しんでいる人も多い。

病人は生死に結ばれる問題だから当時者はれいせいに考えてもらいたい。

この様に統一により今迄以上に苦しんでいる人がいるのに対し、少しの病気などでも又虫下しの薬さえも医者のところからもらい使用している人が居る。

これらのことゝどんな一寸のことでも医者にかかることの出来る人は二重加入者であって、彼等は薬店からもらえば金がいるが医者からならば国保と社会保険とで無料（ただ）と考えている。前者の様に国保単一加入者とは全く逆だ。

こういう人が新市に九千余名いるということで、この受診率が国保に対して三以上でこの加入者が毎月増加している。これを旧松尾地区に例をとれば月々十万円を国保単一加入者が負担している。

国保は早期発見、早期治療を提しようとしているが現実はこれに反する行為となっている。市の当事者は四、五、六の三ケ月間の受診率をみてから善処するということだが、市民が医者や政治家のギセイ者とならないように、目を開いて今後を見守ってほしい。

市議会、議員は二重加入を打切り、七割給付三割窓口払いとしたいなどと力説している。どうみてもこれらの問題は合併のおんけいではなくて合併による不幸と考えられる。我々市民は住みよい明るい生活を希望して合併に加わったのであって誰しもこの様な不自然を願ったわけではありません。市当事者は国保についてれいせいに考えて住民の福利増進をはかってほしい。

（松尾M）

九月号に於て国保問題を細かく報道する。当事者、一般市民、医者などにアンケートしてこれらの問題を追求するべく、飯田市公民館新聞委員会で決定したので市民の御協力を御願いします。

ダムに依る災害は
泰阜ダム撤去大会開かる
関係者が補償する

泰阜ダム撤去問題は、「ダムの為河床の上床でおきる人工災害は其の度毎に災害度を増すために、関係市町村は議決をもって林知事を相手に水利権をめぐる訴訟をおこしており、又一方災害者団体は今度の水害を機に強力な団体力を結集し、災害補償の裁定とダム撤去」とを同時に其の運動を展開しており其の成り行きが注目されている。

天竜川の河床の上床は昭和二十年には時又附近迄とされ、二十五年は駄科と久堅間の南原橋附近迄と推定され、竜丘地区の危険家屋十三戸が移転の対象となり、中電よりの二〇〇万円の補償費（移転費）で移転している。昭和二十八年の水害は、河床の上床もゞっと上流に達し、松尾地区迄と見込まれている。今度の六月末の災害は天然と人工災害とをふくめて相当額にのぼり、天竜川ダムの為の水害地域は座光寺、稲神附近迄とみられ泰阜ダムの撤去はいよいよ表面化して激しさを加えている。昨年度これ等関係市町村長は泰阜ダム水利権の期限延長を許可した知事に対し、その許可を取消す様訴願したが、何らの返事もないため、林知事を相手に、行政訴訟を行った。一方これら議決をもって行動する行政担当者とは別に災害者団体は、ダム撤去を強く訴え乍ら、水害に依る災害補償の裁定を受けるべく災害細目を県に提出している。

この様に災害の裁定を知事にようせいしたのは、以前知事の水利権許可の際の条文に、「ダムに依っておきたる災害に対しては、関係者（中電）はこれに補償をせよ」となっており、「但し災害の裁定は知事がおこなう」となっているもので、災害者団体はこの条文に手続き中である。これに対し各関係地区からは二〇日代表者が出県し話合っているが、今の所ダムの撤去は見込みなくかりに撤去迄至るとみても、こゝ三、四年にはとうてい考えられないとされ、とりあえずダムの河床を下げることと護岸工事の完全と、現在の護岸の高さの積上げ等があるものと考えられており、又災害者団体は今度の水害を機に強力な団体力を結集し、災害補償の裁定とダム撤去」とを同時に其の運動を展開しており其の成り行きが注目されている

上＝泰阜ダム撤去要求大会（七月二十六日松尾小学校体育館で開かれ、関係市村より百数十名の出席があり又県知事、土木部長、河川課長等も出席された）

下＝同大会に集る市村代表（松尾小グラウンド）

農業経営の向上を図る

飯田市農業委員会々長　木下守

今回行われた農業委員の改選に伴って不肖私図らずも会長に御選任いただき、その要職を汚すことになりました。素より浅学菲才その器ではありませんが粉骨砕心全力を傾けて、与えられたる職責を、完了いたしたい覚悟でございますので、皆々様の絶大なる御指導御鞭撻を御願い申し上げます。我飯田市合併の根本理念が田園都市の建設にあることは皆様御承知の通りでございます。而してこの大理想を実現する為には幾多の方策があることゝ存じますが、何と云ってもその中心をなすものは農村地帯に於ける農業生産力の発展と農業経営の合理化によって農業経済の向上を図るにありと申さなければなりません。斯る大事業は独り市の行政の力のみによって実現する事はきわめて困難であって斯うした目的を達成するに必要な具体的方策を樹立すると共に、之が実施の推進を図る使命を有する農業委員会の活動と協力によってはじめて実現し得るものと確信するものであります。我が農業委員会は之が使命の極めて重大なるを鑑みまして、今後市との連携を一層緊密にし表裏一体となって田園都市実現の為に、全機能を発揮すると共に全幅の努力を傾注する所存でございますから、市民の皆様の御協力の程願って止みません。

公民館の役職員研修会

去る八月二十三日午前九時より中央公民館に於て飯田市各地区公民館の館長、主事、運審委員、各部長が集り飯田市公民館として初の研修会が開催された。講師はお茶の水大学の吉田昇助教授で参加者は熱心に聴講した。演題は〝公民館運動の意義とその方途〟なお講演後五つの分科会にわかれて、討議しその中から問題を出して再び吉田先生に話を願い有意義な研修会の一日であった。

短信

伊賀良

◎伊賀良有線放送推進委員会では九月から月掛準備貯金をはじめることになり、地区民に対する啓蒙普及にのりだした。

◎お盆の十五日に行われた部落対抗野球決勝大会で三年振りに上中村部落チームが優勝した。

座光寺

◎飯田の果物郷座光寺は桃の出荷にまにあうよう、農協が選果場を建てた。これで座光寺地区に十ケ所の選果場が出来たわけ

下久堅

◎郡下のトップに有線放送を実施したが、県下各地より毎日三十名から五十名の視察者がおしかけ、係はうれしいひめいをあげている。

龍丘

◎去る八月四日詩人山本太郎氏を囲み新しい詩について語る座談会が開かれた。

三穂

◎三穂小中校では現在副食給食をしているが学童の体位向上を図るため今年中に完全給食を実施する事になり促進協議会が生れた。これは給食施設、財源等具体的な問題を研究するわけ◎立石下瀬はこの春より上水道の作業に着手していたが、ほぼ完成し今台所の改善に大量で費用も多額を要し地区の人達は嬉しい悲鳴をあげてる

松尾

◎原水協の結成準備も進み二十六日松尾公民館に於て結成大会を開く。特に当地区としては原水爆禁止運動を全区民のものにするため全地区を十一ブロックに分け支部を作る方針。

合併特集号発行について

合併一周年を迎えるわけで、新聞委員会（委員長柳原善男）は九月中旬に特集号を発行すべく計画を樹てている。御期待下さい。

○秋蒔牧草各種
○緑肥・れんげ種子
ヨイタネの
トマツ本店
電話一四七番

合併一周年記念の行事決る（十月一二三日）

合併一周年を記念する**飯田祭り**が来る十月一日から三日間盛大に挙行されますが、教育委員会主催の下全公民館が挙げて協力する行事に次のものがあります。**蓬平展**毎日午前九時より午後五時が竜翔寺。**地区対抗球技大会**が各体育施設。このほか県市共催の「**全国選抜民俗芸能まつり**」（二、三日昼夜が中央公民館）にも協力しますいずれ詳細はお知らせしますが御期待の上奮って御参加下さる様お願い致します。

風車

▲暦の上ではもう秋と云うのに五号台風のいたいたしい災害箇所の復旧が出来ていないにもかゝわらずやがて台風シーズンを迎えようとしている。

▲扨て去る七月の農委選はあまりにも低調であった、農民の毎日の耕作や営農の仕方にまでも直接に利害関係が結びついているのだから考えようによっては国会議員選挙よりはるかに大切なのである。

▲この大切な選挙に無競争当選があまりにも多かったと云う事は誠に残念でならない。

▲地区の有力者が委員のイスを割当てたり、農村の封建性をいつまでも持ちつゞけてはならない。

▲選挙の時はそれですんでも、そのようにして選ばれた人は必ずと云っていゝ位その地域発展のブレーキとなり、そしてそのハネ返りを受けるのはいつもきまって農民大衆なのである。

▲委員の定数もふえたし、新農村の建設の仕事がうまくゆくか、ゆかぬは委員サマ・サマの運営のいかんに大きく左右されるのである

▲地区の近代化も合理化も我々の生活を豊かにも貧乏にもすることを忘れたくないものである。

▲そして来る十月には百万円の予算を以て合併一周年もあわせ、飯田祭を盛大に行うと云うが、一発大空に打上げられた花火は一シュンに消えて行くが、荒れはてた田畑はかんたんに美田にはならないであろう。七万市民の質素にして心から記念の祝福が出来るよう名案は出来ないものか。

（K）

設置の申込六一四戸

有線放送の設置急ぐ

竜丘地区に有線放送置の熱が高くなって設置申込を終り、申請の段階迄来ている。加入申込数は、農家戸数六四〇戸の内、六一四戸の申込者があり、農家のほとんどが設置を望んでいる。しかしこの有線放送の趣旨が実際の所、徹底していない面もありこの先申込の増加も予想されている。竜丘の有線放送の設置設備主体が農協となり各地区又は各種団体等から委員を選出し、色々の準備や視察を行い設置の場合には、落度のないものにしようとの熱意を示している。有線放送設置の発端は、今各所で既設の所を入れて相当なもので近くには下久堅地区があり、又、飯田市内でも伊賀良地区設置確実とみられ、山本、三穂、松尾等にもそれらの話がもり上っている。こうした現在竜丘地区でも他におくれてはならないと農協理事会を開催、続いて各部落組合長に打信し農家の意向を調査したのであるが「設置を希望するかどうか」の問に対し六四〇戸の内四二〇戸、約六五%程の賛成があり、力付いて設置の方向に一路進めることになった。この為七月二十九日に有線放送設置委員会なるものが、七〇名の陣容で結成された。委員の選出範囲は、農協役員二三、実行組合長三六、財産区議員一、商工会一、市役所支所一、各区議五、婦人会一、青年会一、壮年団一、でその中に小委員会をもうけ実際にはこの小委員会がこまかい点の調査準備にあたることになり、十六名の小委員会が実際面を担当している。

八月二日にはこの小委員会の初会合が開かれ申込徹底の為のパンフレットの原案作成が行われこれを委員会で確認し、八月十日に一応申込〆切日としたが都合で八月二十七日迄延されていた。申込に対しての資金は予定の七五〇戸を目標に一時負担三、五〇〇円とし、其の他毎月百円づつを徴収する予定になっている。この百円の使途は半分の五〇円が放送用人件費、及び電気料金等に当てられ、のこり五〇円は予定料七〇〇〇円の返済にされることゝなる。

しかしまだ確実な見積設計がなされていない関係で一戸当りの確実な負担額は決っていないが近日中に請負会社も決り、設計書の作成と同時にその許可のしんせいもされる事になろう。

解説　竜丘有線放送の設置大要が目下研究中でどの様な型のものがつけられるか未定のため現在放送しているか下久堅の場合を参考に以下解説致します。

一口に云って、竜丘全域に亘るスピーカーによる放送で、送受話機による電話連絡が出来るものです当地区としては、農協に放送局が出来、六百数十戸の家庭にラジオテレホン（スピーカーと電話が一つの機械になったもの）が配置される予定だが、それは三十一本（回線）の線で結ばれ、一回線に二十戸のラジオテレホンが付くことになりそうですが、学校や支所や農協はそれ〴〵一回線すつで結ばれます。

従って放送の場合は全域への放送と二十戸単位の放送とが出来、電話の場合は送受話機をとれば農協にある交換台に通じ、スピーカーによって呼び出しがされ送受話機を通じて話しがされる仕組になっています。電話が来た方の側では二十戸全部のスピーカーがなりますが普通局にある電話の甲乙とか駄科に出来ている農村電話の変ったものゝ様なものです。

【写真説明】上新潟県高田市で開かれた博覧会に農協職員視察旅行の際立寄ったもの。下高田市の一部落で一寸お借り申したもの

そこで、一日の時間割によりラジオ放送、農協、支所、公民館、学校等公共団体の放送、電話の時間等にプログラムが組まれ、互に都合のよい様に使用されるものです

随想リレー

お客様とトウモロコシ

塚平貞雄（56回）

先日も東京で働いている弟が一緒にいる若い連中と十名程やって来た。

大体この四月頃からの予定で慰安旅行なのだとの事だが、昨年は海へ行ったから今年は山国へ来たのだそうで、天竜川舟下りが一番の目的で豊川、佐久間ダム等は道すじだからついでに参拝やら見学やらと云う訳でもあるが、さあ来る先へたって大嵐、小和田間の不通のニュース、早速東京へ電話した所国鉄本社、交通公社とも、人間が連絡出来るのか？、出来ないのか？、よくわからんと云う返事、佐久間の熊谷組の事務所では連絡出来ると云う、又時又、川路両駅でも連絡不能と云い、電話であれやこれやと云った処でらちがあかないが、ともかくも東海道廻りで来るとの事、交通公社でも不通を覚悟ならと一札入れて切符を買い、やって来てみて驚いた。百聞は一見にしかずとはこの事、愈々山越かと覚悟をきめていたら熊谷組の佐久間事務所へ頼んで置いた舟が間合って間一発の処で乗る事が出来、おびただしい流木の間をぬって小和田迄来る事が出来、予定時刻より二時間程遅れて一同やあーやあ——とやってきた。「よくとられたね」と云えば「豊川でオミクジを引いたら大吉と出たから絶対自信を持って来た」と云う。

今度の旅行で天竜川の舟下りは最初からの計画であったが舟上りはおしゃか様でも気がつかなんだと大いばり。

なんでも大嵐から小和田まで山路を歩いた人達と小和田で一緒になったが四時間半かゝったと云って船で函館へ着き、目的地への到着時間の都合で函館から夜行に乗り窓辺の少し手前で夜が明け、汽車の石の窓からも左の窓からもみえるものは黍畑だけで、皆手をたたいて嬉んだ事があった。目的地千歳に着いて外出の折に、三人程で黍畑入り、大きなやっを両手に一ぱい取って、互に顔を見合せて帰ろうとすると兵隊さんと云う小声で、大きな事を云って出て来たこんな味がしませんよ」と若い連中、ちゃあんと云うことを知っていてお世辞を云い乍らも、黍がら口をはなさない始末、そう云えば私も北海道へ転勤になり青函連絡船で函館へ着き、目的地への到着時間の都合で函館から夜行に乗り円もして味が取りたてでないから

その主らしい、「兵隊さんその黍は馬黍で喰べられませんよ」、といわれ後をも見ずに取った黍ももたすに逃帰った事もあった。昔と云っても十六、七年程前、札幌の街では夏から秋にかけて屋台車に七輪をつんで黍を焼いて売っていたが今はどうか、北海道では「とうきび」とよんでいたが……、

今度家へ来た連中の中に塩原の近所の人がいて、塩原の地方では、「とうみぎ」と云うとのこと、所変れば品変るとか、名前がいくらかちがうのだそうで、

一行の連中も帰りの汽車の中で喰べて行くと云ってボストンへ入れて持って行ったが、さてどんな顔をしながら喰べて行ったやら。

「次回のバトンを時又の奥村文子さんにお渡しする」

☆　☆　☆

短歌

時又短歌会

○こまぬきてせんすべもなし浪合の遭難の場所を想ひみるのみ（馬島先生）

○濁水の漸く退けしこの朝（あした）雲の切れ目より鈍き日の射す

○濁流の荒れたる跡の砂の上に幼な子どもらあそびたわむる

○アメリカより来たる小包開けて見む友のなさけの身に泌みにつつ

○電車通学に慣れぬ疲れか朝床に起きがてぬ子をわが呼び覚ます

○背くらべの歌うたひつつ手をつなぎ役場の坂を子等くだりくる

市立となった保育園

但し時又は私立で

合併に依って、竜丘地区にある三ケ所の保育園の内駄科、桐林が四月一日から、市営となり、時又保育園は、じゅう前通り私立で行く事になった。その為駄科園長心得に塩沢富一氏、桐林園長心得に中島清志がそれ〴〵市より任命され両園の保母四名と給食婦二人計六名が市職員となった。私立の時又の場合は設立条件が他二園と異っておるので、市営は困難である為に、同一歩調をとっていない。市立、私立の別での扱は、特に現在の場合変っていないが、唯この先も補助金が出るかどうかむづかしい向がある。

しかし、時又の場合は定員一ぱいを、いつも確保しているので、経営の面では、他に比べれば非常に楽であるとみられているので、問題はなさそうだ。他二園の場合では定員による経営の面で、市営に移管したものとみられる。

伊原春男氏が議長に

龍丘地区の財産区初議長に

去る七月三日無投票当選と決った竜丘財産区初議会が七月十九日開かれ初代議長に伊原春男氏が決り副議長には前島秀夫氏とそれぞれ決定されて実上発足した。

合併に依って旧村議会が解散し各地区に財産区をおく事になってこの財産の維持管理を行う事になっている。現在発足したばかりでこれと云って特別仕事はしていないが、不均一課税のために、中学校建築費の負担金の一部ねん出など、これからむずかしい処理が山積されて来ると思われる。又財産区議員の才費については現在はっきりしていないが、近日中に各議長が集まってなんらかの形で出される事となろう。一方旧区会制も財産管理委員会に改正してじゆう前の区有財産の管理に当る。

但し、駄科地区のみは駄科財産区議会と制定された。

引揚者給付金の申請始まる

一昨年来声を大にして運動して来た引揚者の在外資産問題が漸く実を結び型は変ったが引揚者給付金として此の四月から法の施行となり県では八月より申請の受付を開始することになったので当飯田市でも申請手続を始めており該当と思われる方は支所の窓口にお問い合せ下さい、大略次のような方が給付を受けられます。

一、引揚者給付金

昭和20年8月15日（終戦の日）以前六カ月以上外地に生活の本拠があった方で終戦によって止むなく内地に引揚げ現在生存している方々

二、遺族給付金

右と同じ条件の方々で終戦から引揚までの間に死亡した方及び、引揚後昭和32年3月31日までに死亡した方（引揚後死亡は25才以上）

戸籍の窓　七月分

【田生】

	子の姓名	性別	父の名	部落名
橋爪	祐子	女	政人	時又
伊原	広隆	男	彦夫	時又
玉木	祐子	女	淑雄	時又
牧野	要二	男	稲雄	時又
山田	元章	男	寿博	時又
熊谷	浩	男	明人	駄科
〃	茂	男	〃	〃
伊原	秀雄	男	宗雄	駄科

【婚姻】

今村	尚代	女	弘	上川路
下井田和子		女	清	長の原
田中	千苗	女	治男	駄科

（園原 広雄 駄科 より）
（池田 智子 〃 より）
（林 光男 桐林 より）
（寺平 多計 天竜村 より）
（桐生 鈴三 桐林）
（西尾 薫 飯田錦町）

【死亡】

清水真吾	男	八〇才	上川路	
原 幸夫	男	三才	時又	
馬島 進	男	五七才	時又	
下平 操	女	六八才	時又	
原うまの	女	六〇才	駄科	
（小林 利八 時又より）				
井上 道枝 愛知県海部郡				
（山田 富子 時又より）				
筧 尚 水戸市				
（前沢利久夫 長の原）				
（前沢 典子 〃 より）				
（今村 誠司 上川路より）				
（佐藤賀代子 飯田）				

時又第二チームが優勝

お盆の常会野球

毎年実施されている各区代表常会対抗野球が十四、十五日と行われ決勝戦を時又第二対桐林代表久保田常会とで激戦が展開されたが十三対三で時又第二が優勝した。

今年の代表チーム

駄科代表　下平、寺下常会
桐林　〃　久保田、上北常会
時又　〃　第二、第七常会
長の原　〃　第二常会
上川路　〃　金山常会
の八チームであった。

年寄の日は九月下旬

毎年春開いております年寄りの日が今年は事務のひきつぎやらでのびゝになっておりましたが九月末に開催することになっております。実際は九月十五日が年寄りの日と指定されておりますのとあまり暑いのはお年寄りに御苦労様と云う訳で九月末となっています。

図書館附近で悪臭がする

衛生は或る程度責任官公署の指導がないと退歩するものであります

こゝ何年かを省みると隨分やかましい事を役場から云うて来たものです。やれ手洗運動だ、便所の防はえ措置だ、畜舎の清掃だ等々、だがそのお陰で衛生思想は向上し、そこら当りが気持よくなって来た事は事実であります。

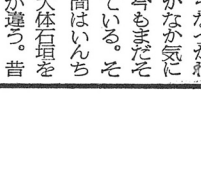
ところが町村合併で大きくなると今迄のように村々で指導する訳にはいかないので勢い退歩するのではないかと案じられたが幸い衛生組合が出来て自主的に活動するようになったので今迄より以上の効果が期待出来るのではないかと思います。

たとえて云いますと役場から何処〳〵が悪いと指摘されると何をゝと反ぱつして見たくなるが衛生組合でお互い話し合っていると心の中で「うん家では何処が悪いから早速改善しよう」と云う気になる。

それで各組合では機会ある毎に（いろ〳〵の会合を利用）反省会、研究会等を持つべきだと思います。その会のあり方は市役所で組合の活動方針を示して置いて組合ではその線に沿って反省し研究をする特に多くの人に迷惑をかけるような行為、例えば河水を汚すようなこと、道路或は公共用建物近くに悪臭を放つような物を置くような事等組合内の出来事なら組合長さんから本人に話して貰えば改善されると思いますが他の組合の事である場合は発見した組合の決議で支所を通じて本人に改善方をお願いすると云うようにしたら良いと思います衛生の向上は組合の活動から、そして組合員の反省からだと思います。

（桐林の一住民）

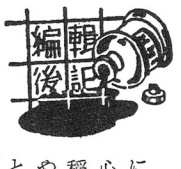
◎注　声の欄に投書下さる方は原稿の長さは縦の字十五字の行数三十行内にして下さい。又投書の方は住所氏名を記入して下さい。但し新聞紙上には本名はさけます。



御免なんしょ

△蚊と蝿を無くする運動の主張まではよいとしてそれから後の大切な実行面がぐらついている様に思われてならない。まだ以前の様に不潔な水溜り池があり、それに虫が湧いていたり、墓場の花立には虫が湧いていたり、一体これは何んの事かわからない。不潔な池はっぷすと云ったらさっさとつぶしてはどうか。墓場の花立を廃すると云ったらさっさと廃してはどうか。一般民衆もぼけているが上層の指導者も少しぼけてはいないかしら。

▽水害に依ってと云えば一応は理屈がつくけれど造ったばかりの石垣が崩壊するのは一寸うなづかれない。その崩れ方がなかなか気に食わない。昔の石垣は今もまだそのまゝでしっかりとしている。そんなのを見ると今の人間はいんちきだとつくづく思う。大体石垣を造る時初めから心掛けが違う。昔の人は出来る丈け丈夫に造って水害を防ごうとかかったのに今の人間はどうやったら少しでも多くもうかるかしらむ、どうやったら手を省いてらくが出来るかしらむ、と云う事を考える。もっとお互い人間同志が真剣にとっ組み度いものである。



七月は雨にたたれて心配された稲作もどおやら平年作と云う事だそうですが、最近の日照がこの先あまり続くと、今度は秋野菜に影響するので心配です。

さて今年の盆も終って秋祭りのシーズンとなる訳で、時又の燈ろう流し、約二万の人出とか、中心街では大宮、今宮、長姫等々の花火も見られる事で秋の取入れ迄の間はしばらく遊べると云う訳、最早秋蚕も配られて蚕で稲刈迄少し苦労です。

新聞も来月は合併一周年記念の記事となると思います。〆切は九月十五日迄としますから原稿は早めに御提出下さい。